


## Press Release(R4/4/11)

# 生体を用いずに切開と縫合の手術が学べる臓器模型を獣医学 生に届けるために、クラウドファンディングを開始

岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 渡邊一弘 教授、宮脇慎吾 准教授（所在地：岐阜県、代表：吉田 和弘）は、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて、生きた動物を用いない手術実習の実現に向けて、岐阜大学で開発した臓器模型を製作するためにクラウドファンディングプロジェクト「動物の犠牲を伴わない手術実習で獣医師を養成したい」を公開しました。500万円を目標に、本日2022年4月11日（月）9時から6月15日（水）23時まで寄付を募ります。

寄付金控除型 #中部 #岐阜県 #社会にいいこと #子ども・教育 #医療・福祉 #テクノロジー #動物 #猫 #寄付金控除型 #犬 #大学

### 岐阜大学 | 動物の犠牲を伴わない手術実習で獣医師を養成したい

 渡邊一弘, 宮脇慎吾(応用生物科学部共同獣医学科獣医外科学研究室)



寄付総額  
0円 目標金額 5,000,000円

0%

寄付者 残り  
0人 65日

フォローする

最初の寄付者になりませんか？

プロジェクトの寄付にすすむ

シェア ツイート LINEで送る noteで書く

(プロジェクト URL : <https://readyfor.jp/projects/gifuvet-skills>)

獣医師を志す学生は、動物を治療する「外科手術」を学びます。外科手術を学ぶために、生きた動物（生体）を利用することは、動物愛護の観点から望ましくありません。そのため、大学での手術の技術習得は座学と映像視聴、手術見学が中心であり、切開や縫合などの実技トレーニングが不十分になっています。

既存の生体を代替する模型は非常に高額であり、全ての学生が使用できるわけではありません。また、切開や縫合などの手術手技を学べるような模型はほとんどありません。そこで、外科手術の実技トレーニングを学生ひとりひとりが繰り返し学べる犬の臓器模型を私たちは世界に先駆けて開発しました。今回、この臓器模型を実際に学生に使ってもらうための製作費を募るためクラウドファンディングに挑戦します。将来的に、この臓器模型を全国に普及させることで、日本の獣医学教育や獣医療の質の向上に貢献します。

つきましては、取材のほどよろしくお願ひします。

## 記

1. タイトル：動物の犠牲を伴わない手術実習で獣医師を養成したい
2. ページ URL：<https://readyfor.jp/projects/gifuvet-skills>
3. 目標金額：500 万円
4. 公開期間：令和 4 年 4 月 11 日（月）9 時～令和 4 年 6 月 15 日（水）23 時
5. 資金使途：手術実習で活用できるシリコンの臓器模型の材料費および製作費
6. 形式：寄付金控除型 / All in 形式  
※All-in 形式は、目標金額の達成の有無に関わらず、集まった支援金を受け取ることができる形式です。
7. リターン：5,000 円～1,000,000 円の計 7 コース
8. 実行者情報：東海国立大学機構 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科獣医外科学研究室 教授 渡邊一弘、准教授 宮脇慎吾

### 【本件に関する問合せ先】

岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 教授 渡邊一弘

電 話：058-293-2952

メール：cfg-kwatanabe2201@gifu-u.ac.jp